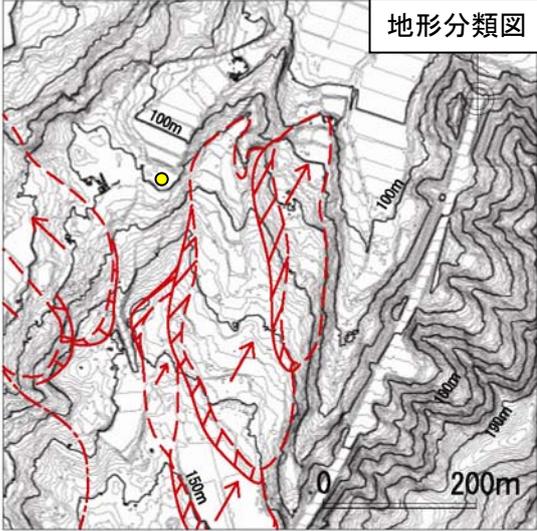
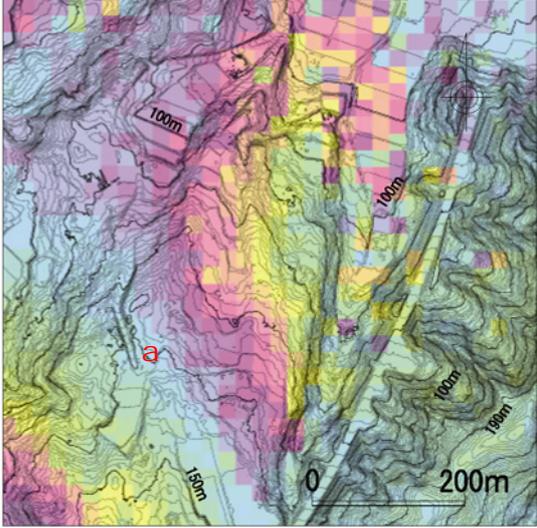
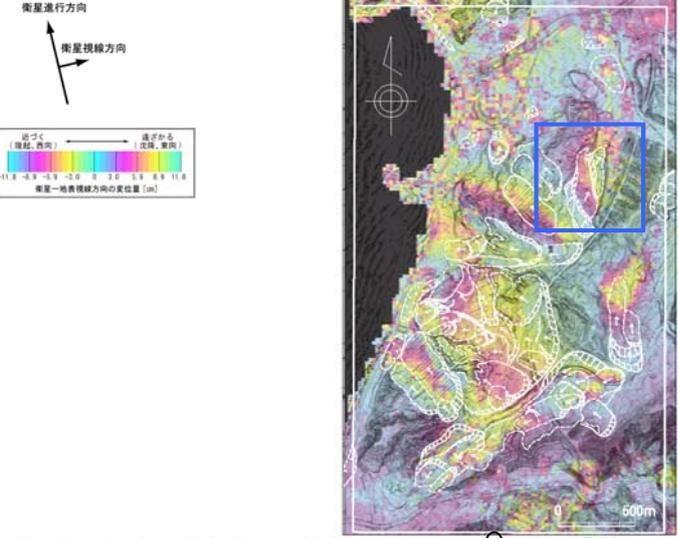
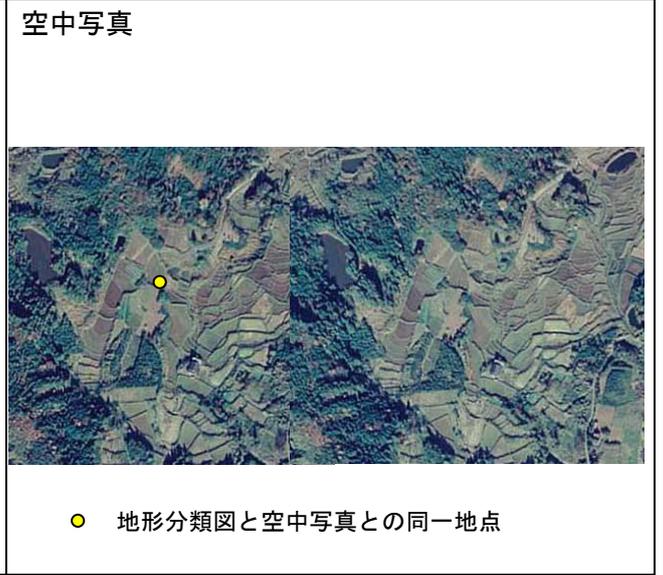
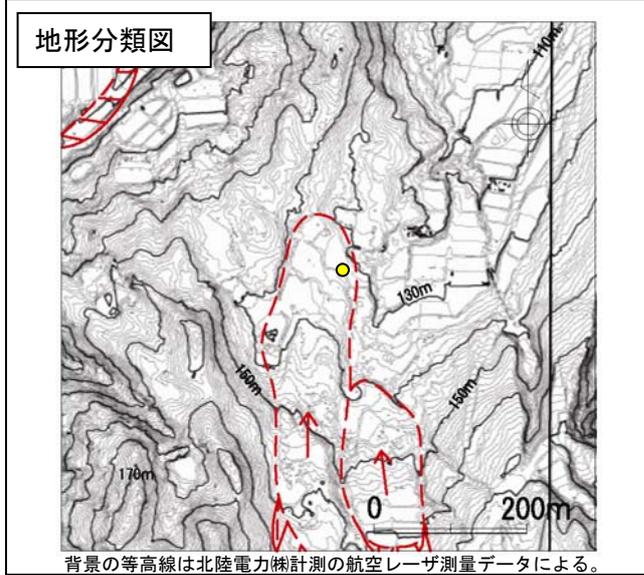


作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	能登黒島
対象地点の中心	北緯 37° 16′ 58″	東経 136° 44′ 47″	Area B(4)
 <p>地形分類図</p> <p>背景の等高線は北陸電力㈱計測の航空レーザ測量データによる。</p>		<p>空中写真</p>  <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>	
<p>SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m</p>			
<p>撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日</p>			
<p>解像度：(FBS) / (FBD) (2007年2月23日) / (FBS) / (FBD) (2007年4月10日)</p>			
<p>衛星の視線方向：(西側上空から東向き) / (東側上空から西向き)</p>			
		 <p>衛星進行方向 衛星視線方向</p> <p>近づく (傾斜、西向き)      遠ざかる (沈降、東向き)</p> <p>-11.4 -9.3 -7.2 -5.1 -3.0 -0.9 0.9 2.8 4.7 6.6 8.5 10.4 11.6</p> <p>衛星-地表視線方向の変位 [cm]</p> <p>Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI</p>	
<p>備考：</p> <p>斜面（地すべり）</p> <p>① 干渉縞：明瞭</p> <p>② 視線方向の色変化：（対象地点の西側に位置する無変化の広い青色部分 a を基準に西から東に向かって）青→赤→黄→緑色</p> <p>③ 移動方向：東へ遠ざかる ないしは沈降</p> <p>頭部滑落崖及び北西側の側方崖が明瞭な地すべり地形である。地形から判読される地すべりの移動方向は北北東向きであり、干渉縞で検出された移動方向と一致する。</p>			

作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	能登黒島
対象地点の中心	北緯 37° 16′ 32″	東経 136° 44′ 54″	Area B(5)

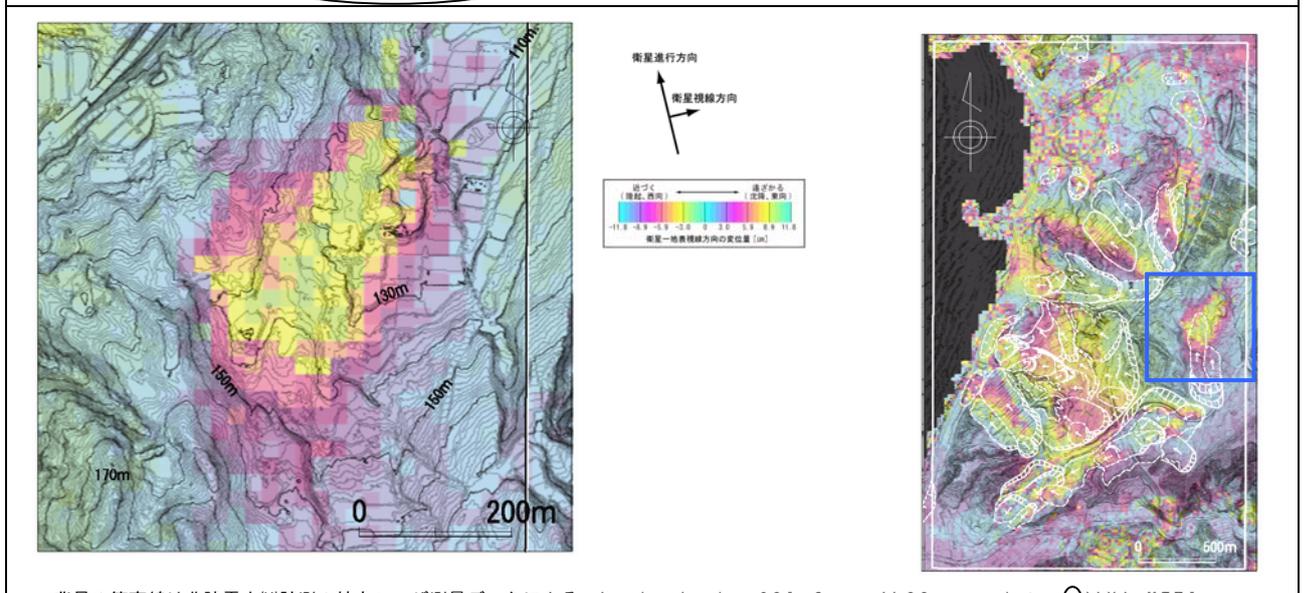


SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：FBS/FBD (2007年2月23日) / FBS/FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向：西側上空から東向き / 東側上空から西向き



備考：

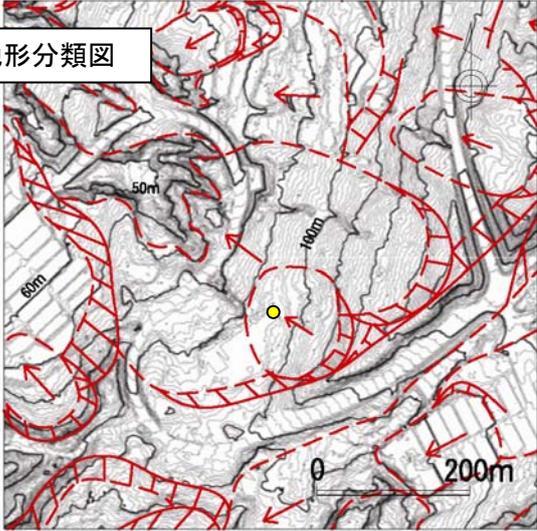
斜面及び人工改変地（一部、地すべり）

- ① 干渉縞：明瞭
- ② 視線方向の色変化：（対象地点の周りにある無変化の広い青色部分を基準に西から東へ向かって）青→赤→黄色
- ③ 移動方向：東へ遠ざかる ないしは沈降

干渉縞の南半部は地すべり移動体の末端に位置するが、干渉縞は移動体にとどまらず北方の緩斜面まで広がっている。現地を確認したところ、黄色の干渉縞付近で谷部が盛り土されていたことから、その沈下を検出した可能性がある。

作成日：2009年1月16日（改訂日：2009年8月17日）

総図名	七尾	1/2.5万図名	能登黒島
対象地点の中心	北緯 37° 16' 15"	東経 136° 44' 19"	Area B(6)

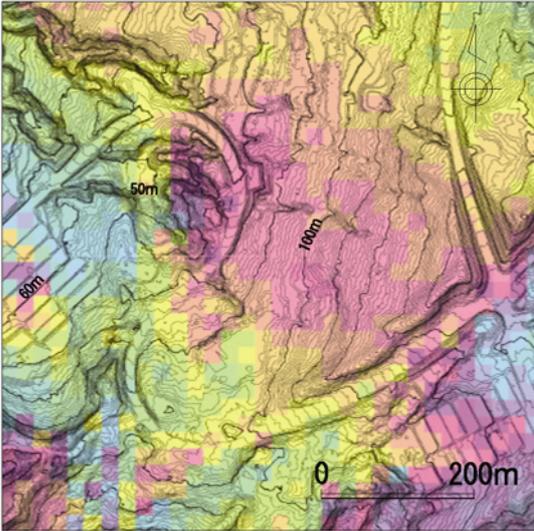
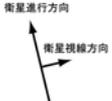
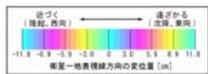
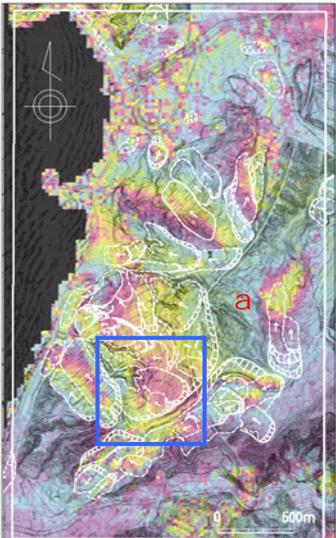
<p>地形分類図</p>  <p>背景の等高線は北陸電力株式計測の航空レーザ測量データによる。</p>	<p>空中写真</p>  <p>● 地形分類図と空中写真との同一地点</p>
--	--

SAR干渉画像：アセンディング；オフナディア角：41.5°；基線長 Bperp：+432 m

撮影年月日：2007年2月23日～2007年4月10日

解像度：FBS/FBD (2007年2月23日) / FBS/FBD (2007年4月10日)

衛星の視線方向：西側上空から東向き / 東側上空から西向き

 <p>背景の等高線は北陸電力株式計測の航空レーザ測量データによる。Analysis by GSI from ALOS raw data ©JAXA, METI</p>	<p>衛星進行方向 衛星視線方向</p>   <p>(点 a は右図参照)</p> 
---	--

備考：

斜面（地すべり）

- ① 干渉縞：明瞭
- ② 視線方向の色変化：（対象地点の東側にある無変化の青い部分 a を基準に東から西へ）青→黄→赤色
- ③ 移動方向：西へ近づかないしは隆起

干渉縞に中央部（赤色の部分）は頭部滑落崖が明瞭な地すべり地形とほぼ一致する。地形から判読される地すべりの移動方向は西向きであり、干渉縞で検出された移動方向と一致する。このことから、地すべり地形内部の広い範囲で生じた微小な動きを検出していると判断する。